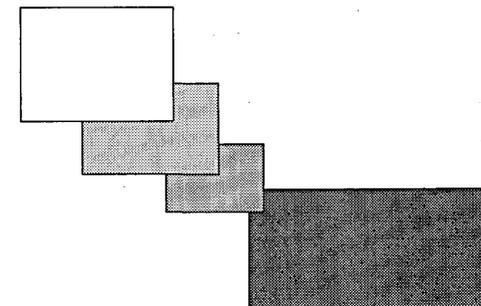


20. 国有財産在高〔分類別〕

(単位：百万円)

年度末	総計	公用財産	営林財産	雑種財産
大正 10	5,495	3,589	1,596	310
11	5,869	3,939	1,601	329
12	6,132	4,212	1,572	348
13	6,344	4,421	1,568	356
14	6,571	4,641	1,559	371
昭和 1	7,257	5,086	1,786	385
2	7,503	5,317	1,796	390
3	7,837	5,656	1,784	396
4	8,111	5,935	1,793	383
5	8,312	6,144	1,782	385
6	8,001	6,254	1,384	362
7	8,193	6,432	1,375	385
8	8,593	6,522	1,374	696
9	8,979	6,904	1,372	704
10	9,263	7,184	1,377	704
11	11,428	8,490	1,981	957
12	11,935	8,973	1,967	995
13	12,627	9,552	1,970	1,105
14	14,311	10,327	2,734	1,249
15	15,608	11,335	2,739	1,534
16	18,690	13,302	3,482	1,906
17	20,800	14,822	3,493	2,485
18	23,487	16,933	3,522	3,032
20	20,662	9,127	3,530	8,005
21	42,410	14,205	13,316	14,888
22	70,041	30,028	15,825	24,188

出典：大蔵省「財政金融統計月報」第71号、28ページ。



大蔵省主要官職歴任表

(昭和20年8月以前)

目 次

1. 大蔵卿・大蔵大臣	451
2. 参政官・副参政官・政務次官・参与官	453
3. 大蔵大輔・大蔵少輔	453
4. 大蔵次官・総務長官	454
5. 帝国特派財政委員・海外駐割財務官	454
6. 記録頭・記録局長	455
7. 常平局長・庶務局長	456
8. 書記局長	456
9. 議案局長	456
10. 会計局長	456
11. 総務局長	456
12. 官房長	456
13. 監督正・検査頭・検査局長	457
14. 正算正	457
15. 統計正・統計頭	457
16. 精算局長・調査局長・主計局長	457
17. 出納正・出納頭・出納局長	458
18. 金庫局長	458
19. 租税正・租税頭・租税局長・主税官長・主税局長	458
20. 関税局長	459
21. 理財局長・金融局長	459
22. 国債頭・臨時国債整理局長・国債局長	459
23. 預金局長・預金部長官・預金部資金局長・資金局長	460
24. 会社部長	460
25. 監査局長・監督局長・銀行局長・銀行保険局長	460
26. 監理局長	461
27. 国民貯蓄局長	461
28. 外国為替管理部長・為替局長・外資局長	461
29. 大蔵省臨時建築部長	461
30. 臨時国有財産整理部長・国有財産整理局長・営繕管財局長	462
31. 造幣局長	462
32. 印刷局長	463
33. 専売局長	463

1. 大蔵卿・大蔵大臣

代	氏名	任	免	内閣	備考
1	松平慶永	明 2. 8.12	明 2. 8.24		
2	伊達宗城	2. 9.12	4. 9.29		4年4月～9月まで、 欽差全権大臣として清国へ差遣、 6月～9月まで形式上大蔵卿は2人
3	大久保利通	4. 6.27	6.10.13		
4	大隈重信	6.10.25	13. 2.28		
5	佐野常民	13. 2.28	14.10.21		
6	松方正義	14.10.21	18.12.22		
1	松方正義	18.12.22	—	第1次伊藤	
〃	松方正義	21. 4.30	—	黒田	
〃	松方正義	22.12.24	—	第1次山県	
2	松方正義	24. 5. 6	25. 8. 8	第1次松方	総理の兼任
3	渡辺国武	25. 8. 8	28. 3.17	第2次伊藤	
4	松方正義	28. 3.17	28. 8.27	〃	
5	渡辺国武	28. 8.27	28.10. 9	〃	通相の兼任
6	渡辺国武	28.10. 9	29. 9.18	〃	
7	松方正義	29. 9.18	31. 1.12	第2次松方	総理の兼任
8	井上馨	31. 1.12	31. 6.30	第3次伊藤	
9	松田正久	31. 6.30	31.11. 8	第1次大隈	
10	松方正義	31.11. 8	33.10.19	第2次山県	
11	渡辺国武	33.10.19	34. 5.14	第4次伊藤	
	(西園寺公望)	34. 5.14	34. 6. 2	〃	臨時兼任)
12	曾禰荒助	34. 6. 2	39. 1. 7	第1次桂	
13	阪谷芳郎	39. 1. 7	41. 1.14	第1次西園寺	
14	松田正久	41. 1.14	41. 3.25	〃	法相の兼任
15	松田正久	41. 3.25	41. 7.14	〃	
16	桂太郎	41. 7.14	44. 8.30	第2次桂	総理の兼任
17	山本達雄	44. 8.30	大 1.12.21	第2次西園寺	
18	若槻禮次郎	大 1.12.21	2. 2.20	第3次桂	
19	高橋是清	2. 2.20	3. 4.16	第1次山本	
20	若槻禮次郎	3. 4.16	4. 8.10	第2次大隈	
21	武富時敏	4. 8.10	5.10. 9	〃	

代	氏名	任	免	内閣	備考
22	寺内 正毅	大 5.10.9	大 5.12.16	寺内	総理の兼任
23	勝田 主計	5.12.16	7.9.29	〃	
24	高橋 是清	7.9.29	—	原	
25	高橋 是清	10.11.13	11.6.12	高橋	総理の兼任
26	市来 乙彦	11.6.12	12.9.2	加藤(友三郎)	
27	井上 準之助	12.9.2	13.1.7	第2次山本	
28	勝田 主計	13.1.7	13.6.11	清浦	
29	浜口 雄幸	13.6.11	—	加藤(高明)	
〃	浜口 雄幸	15.1.30	15.6.3	第1次若槻	
30	早速 整爾	15.6.3	15.9.14	〃	
31	片岡 直温	15.9.14	昭 2.4.20	〃	
32	高橋 是清	昭 2.4.20	2.6.2	田中	
33	三土 忠造	2.6.2	4.7.2	〃	
34	井上 準之助	4.7.2	—	浜口	
〃	井上 準之助	6.4.14	6.12.13	第2次若槻	
35	高橋 是清	6.12.13	—	犬養	
〃	高橋 是清	7.5.26	9.7.8	斎藤	
36	藤井 真信	9.7.8	9.11.27	岡田	
37	高橋 是清	9.11.27	11.2.26	〃	
38	町田 忠治	11.2.27	11.3.9	〃	商工相の兼任
39	馬場 錠一	11.3.9	12.2.2	広田	
40	結城 豊太郎	12.2.2	12.6.4	林	
41	賀屋 興宣	12.6.4	13.5.26	第1次近衛	
42	池田 成彬	13.5.26	14.1.5	〃	
43	石渡 荘太郎	14.1.5	14.8.30	平沼	
44	青木 一男	14.8.30	15.1.16	阿部	
45	桜内 幸雄	15.1.16	15.7.22	米内	
46	河田 烈	15.7.22	16.7.18	第2次近衛	
47	小倉 正恒	16.7.18	16.10.18	第3次近衛	
48	賀屋 興宣	16.10.18	19.2.19	東条	
49	石渡 荘太郎	19.2.19	—	〃	
〃	石渡 荘太郎	19.7.22	20.2.21	小磯	
50	津島 壽一	20.2.21	20.4.7	〃	
51	広瀬 豊作	20.4.7	20.8.17	鈴木	

備考：明治18年12月22日、大藏卿は大藏大臣となる。大藏卿、大藏大臣はそれぞれに代を数えた。代の数え方は、旧憲法時代は人の替る度及び同一人が専任・兼任と替る度に1代とした。

2. 参政官・副参政官・政務次官・参与官

氏名	任	免	氏名	任	免
浜口 雄幸	大 4.7.2	大 4.8.2	大津 淳一郎	大 4.7.2	大 4.8.21
加藤 政之助	4.8.21	5.10.9	紫安 新九郎	4.8.21	5.10.9
(以上参政官)			(以上副参政官)		
早速 整爾	13.8.12	14.8.10	三木 武吉	13.8.12	昭 2.2.5
武内 作平	14.8.10	昭 2.4.22	中野 正剛	昭 2.2.5	2.4.22
大口 喜六	昭 2.4.22	4.7.2	山口 義一	2.4.22	4.7.4
小川 郷太郎	4.7.5	6.4.15	勝 正憲	4.7.4	6.4.15
田 昌	6.4.15	6.12.15	前田 房之助	6.4.15	6.12.15
堀切 善兵衛	6.12.15	9.7.19	太田 正孝	6.12.15	7.6.1
			上塚 司	7.6.1	9.7.19
矢吹 省三	9.7.19	11.4.15	豊田 収	9.7.19	11.4.15
中島 弥団次	11.4.15	12.6.23	丹下 茂十郎	11.4.15	12.2.4
太田 正孝	12.6.23	14.1.19	中村 三之丞	12.6.23	14.1.19
松村 光三	14.1.19	14.9.19	矢野 庄太郎	14.1.19	14.9.19
清瀬 規矩雄	14.9.19	15.1.23	豊田 豊吉	14.9.19	15.1.23
木村 正義	15.1.23	15.7.25	松田 正一	15.1.23	15.7.25
小笠原 三九郎	19.9.1	20.4.11	田村 秀吉	19.9.1	20.4.11
中村 三之丞	20.5.15	20.11.1	西川 貞一	20.5.15	20.8.22
(以上政務次官)			(以上参与官)		

備考：大蔵省参政官・大蔵省副参政官は大正4年7月2日創設され、大正9年5月15日廃官された。大蔵政務次官は大正13年8月12日創設され、昭和15年7月25日廃官されたが、昭和19年9月1日に再設された。大蔵省参与官は大正13年8月12日創設され、昭和23年4月14日廃官された。

3. 大蔵大輔・大蔵少輔

氏名	任	免	氏名	任	免
大隈 重信	明 2.7.8	明 2.7.22	伊藤 博文	明 2.7.18	明 4.7.28
大隈 重信	2.8.11	3.9.2	吉井 友実	3.4.18	3.9.10
大隈 重信	4.6.27	4.7.14	井上 馨	3.11.12	4.6.25
井上 馨	4.7.28	6.5.14	津田 出	4.7.28	4.8.12
			吉田 清成	4.10.18	6.9.9
松方 正義	8.11.4	13.2.28			
			吉原 重俊	13.3.12	17.12.11
			郷 純造	17.5.20	18.12.22
(以上大蔵大輔)			(以上大蔵少輔)		

備考：内閣制度成立前、大蔵次官に相当する職として、大蔵大輔、大蔵少輔があった。

4. 大蔵次官・総務長官

氏名	任	免	氏名	任	免
郷 純造	明19. 3. 9	明21.11.28	西野 元	大11. 6.14	大13. 6.11
渡辺 国武	21.11.28	25. 8. 8	小野 義一	13. 6.11	13. 8.12
田尻 稻次郎	25. 8.10	31. 7. 5	田 昌	13. 8.12	昭 2. 4.22
添田 壽一	31. 7. 5	31.11. 8	黒田 英雄	昭 2. 4.22	4. 7. 4
田尻 稻次郎	31.11. 8	34. 6. 5	河田 烈	4. 7. 4	6.12.14
阪谷 芳郎	34. 6. 5	39. 1. 8	黒田 英雄	6.12.14	9. 5.21
若槻 禮次郎	39. 1. 8	40. 4.13	藤井 真信	9. 5.21	9. 7.10
水町 袈裟六	40. 4.13	41. 6. 3	津島 壽一	9. 7.10	11. 3.13
桜井 鐵太郎	41. 6. 3	41. 7.17	川越 丈雄	11. 3.13	12. 2. 2
若槻 禮次郎	41. 7.17	44. 9. 6	賀屋 興宣	12. 2. 2	12. 6. 5
橋本 圭三郎	44. 9. 6	大 1.12.21	石渡 莊太郎	12. 6. 5	14. 1. 6
勝田 主計	大 1.12.21	3. 4.16	大野 龍太	14. 1. 6	15. 7.22
浜口 雄幸	3. 4.16	4. 7. 2	広瀬 豊作	15. 7.22	16. 7.25
菅原 通敬	4. 7. 2	5.10. 9	谷口 恒二	16. 7.25	19. 3.24
勝田 主計	5.10. 9	5.12.16	松隈 秀雄	19. 3.24	20. 2.23
市来 乙彦	5.12.16	7.10. 2	田中 豊	20. 2.23	20. 4.13
神野 勝之助	7.10. 2	11. 6.14	山際 正道	20. 4.13	21. 1.30

備考：大蔵次官は、明治33年5月20日総務長官と名称を変更し、明治36年12月5日に再び大蔵次官となる。

5. 帝国特派財政委員・海外駐割財務官

(1) 英仏駐在

氏名	任	免	氏名	任	免
高橋 是清	明38. 7. 7	明40. 4.13	津島 壽一	昭 2. 5.15	昭 9. 2.15
若槻 禮次郎	40. 4.13	41. 7.17	富田 勇太郎	9. 2.15	11.11.21
水町 袈裟六	41. 7.17	44. 6.23	荒川 昌二	11.11.21	15. 3. 2
森 賢吾	44. 6.23	昭 2. 5.24	湯本 武雄	15. 5.25	15.12. 4

備考：海外駐割財務官の前身は高橋是清が日本銀行副総裁のまま明治38年7月7日帝国日本政府特派財政委員を委任されたのに始まり、明治39年8月勅令第235号により、高等官1名が欧米駐在し得る規定を定め、若槻が次官のまま帝国日本政府特派財政委員となり、41年7月水町に引ついだが、明治43年5月勅令第236号で海外駐割財務官（英仏駐在）を設置し、水町が6月1日最初の財務官に任命された。昭和15年12月以降は空席。

(2) 米国駐在

氏名	任	免	氏名	任	免
田 昌	大 6. 9.17	大11. 6.17	勝 正憲	大12. 4.12	大13.10.25
松本 脩	11. 6.21	12. 4. 6	西山 勉	昭14. 4.22	昭18. 3.24

備考：大正6年9月勅令第149号で海外駐割財務官の米国駐在をきめたが、大正13年12月勅令第328号で米国駐在財務官は英仏駐在財務官の兼務とすることを決め、昭和13年1月勅令第2号で再度米国駐在の専任財務官を置き得ることとしたが、実際は昭和14年4月22日まで英仏駐在財務官が兼任した。兼任の財務官は省略した。

(3) 露国駐在

氏名	任	免	氏名	任	免
今村 次吉	大 6. 9.17	大 8. 9. 3	草間 秀雄	大 8. 9.16	大 9. 9.20

備考：大正6年9月勅令第149号で海外駐割財務官の露国駐在を決め、大正9年9月勅令第416号で廃止した。

(4) 中国駐在

氏名	任	免	氏名	任	免
小林 丑三郎	大 6. 9.17	大 8. 4. 7	湯本 武雄	昭13. 6.15	昭15. 5.25
△公森 太郎	8. 9.16	9. 9.23	木内 四郎	15. 5.25	16. 7.16
公森 太郎	昭 4. 4.22	昭 5. 8. 6	小原 正樹	16. 7.16	18. 3.24
大野 龍太	13. 1. 7	13. 6.15			

備考：大正6年9月勅令第149号で海外駐割財務官の支那駐在を決め、大正9年9月勅令第416号で支那駐在財務官を廃止し、かわりに事務官を置くこととなり、海外駐割財務官心得であった公森が引き続き大蔵事務官として中国に駐在した。昭和4年4月勅令第88号で再び支那国駐在財務官を設置することになったが、昭和6年4月勅令第59号で再び駐支財務官を廃止、昭和13年1月勅令第2号で再び復活した。

(5) 独伊駐在

氏名	任	免
湯本 武雄	昭15.12. 4	昭20.10.27

備考：昭和15年12月勅令第830号で海外駐割財務官の独伊駐在を定めた。

6. 記録頭・記録局長

氏名	任	免	氏名	任	免
立 嘉度	明 4.12. 8	明 6.10.29	伊東 武重	明14.11.16	明19. 2.27
熊谷 武五郎	7. 4.24	8. 6.28	浦 春暉	19. 3. 9	23. 6.25
遠藤 謹助	8. 7.23	14.11.16			

備考：記録寮（記録頭）は明治4年8月10日創設され、明治10年1月11日記録局（記録局長）となった。明治23年6月25日記録局は廃止され、総務局に統合された。

7. 常平局長・庶務局長

氏名	任	免	氏名	任	免
与倉 守人	明11. 6.17	明14.11.16	成川 尚義	明14.11.16	明17. 5. 8

備考：常平局長は明治10年1月11日設置を予定され、翌11年7月1日開局し、15年11月4日廃止された。同時に庶務局長を置き常平局長は庶務局長となる。庶務局長は明治17年5月8日廃止された。

8. 書記局長

氏名	任	免	氏名	任	免
石丸 安世	明13. 3.15	明14.11.10	山崎 直胤	明16.12.24	明17. 1.23
郷 純造	14.11.16	15. 6.13			

備考：書記局長は明治12年12月16日本局廃止と共にその事務の一部を引継いで設置され、明治19年2月27日廃止された。

9. 議案局長

氏名	任	免	氏名	任	免
戸田 秋成	明13. 3.15	明14.11.16	大野 直輔	明15.12.21	明18. 5.30
岩崎 小二郎	14.11.16	15.10. 2	宍戸 昌	18. 5.30	19. 1.16

備考：議案局長は明治12年12月16日本局廃止と共にその事務の一部を引継いで設置され、明治19年1月16日廃止された。

10. 会計局長

氏名	任	免	氏名	任	免
立田 彰信	明14. 6.29	明19. 1.16	山本 豊躬	明19. 1.16	明24. 8.16

備考：会計局長は明治14年6月27日創設され、明治24年8月16日廃止され、事務の主要部分を大臣官房に引継いだ。

11. 総務局長

氏名	任	免	氏名	任	免
○郷 純造	明19. 3. 9	明21.11.28	松田 令輔	昭18.11. 5	昭19.11. 1
○渡辺 国武	21.11.28	24. 7.24	山際 正道	19.11. 1	20. 5.19
迫水 久常	昭17.11. 1	昭18.11. 5			

備考：総務局長は明治19年2月26日創設され、明治24年8月16日廃止され、事務を大臣官房に引継いだ。下って、昭和17年11月1日再度総務局長が設置され、昭和20年5月19日廃止され事務を大臣官房に引継いだ。

12. 官房長

氏名	任	免	氏名	任	免
平山 成信	明33. 5.20	明33.10.27	長森 藤吉郎	明34. 6. 5	明36.12. 5
石塚 重平	33.10.27	34. 5.14			

備考：官房長は明治33年4月勅令第161号により同年5月20日設置され、明治36年12月5日廃止された。下って昭和20年9月1日再置された。

13. 監督正・検査頭・検査局長

氏名	任	免	氏名	任	免
田中 光顯	明 2. 8.17	明 4. 1.27	安藤 就高	明 6. 6. 5	明13. 3. 5
熊谷 武五郎	6. 2. 7	6. 5. 5			

備考：検査局長の前身は明治2年5月8日会計官中に設置された監督司で数名の司知事を置いたが、明治2年7月8日大蔵省創設と共に大蔵省に引継がれ、同年8月11日民部省に転属となり、明治3年7月10日大蔵省に復帰した。その間数名の監督正以下の職員がいたが、3年12月9日職制を定めて監督正を1人とした。監督司は4年7月27日廃止され、同年8月10日検査寮を設置して事務を引継いだ。創設当時の検査頭は空席である。なお明治10年1月11日検査寮を検査局と改め検査頭は検査局長となった。明治13年3月5日、会計検査院が創設されることになり検査局は廃止され、その事務を会計検査院および精算局に引継いだ。

14. 正算正

氏名	任	免
○中村 清行	明 4. 8.18	明 5.10. 9

備考：正算司は明治4年8月10日創設され、統計頭が正算正を兼任した。明治5年10月9日廃止し、事務を検査寮に引継いだ。

15. 統計正・統計頭

氏名	任	免
中村 清行	明 4. 8.10	明 6. 7.19

備考：統計司は明治4年7月27日大蔵省中に設置されその長を統計正とし、同年8月10日統計寮となり統計正は統計頭となった。明治10年1月11日廃止された。

16. 精算局長・調査局長・主計局長

氏名	任	免	氏名	任	免
安藤 就高	明13. 3. 8	明14. 5.28	田 昌	大11. 6.17	大13. 8.12
石渡 貞夫	14. 6.20	15.11. 2	河田 烈	13. 8.12	昭 4. 7. 4
渡辺 国武	15.11. 2	24. 7.24	藤井 真信	昭 4. 7. 4	9. 5.22
松尾 臣善	24. 7.24	30. 4.28	賀屋 興宣	9. 5.22	11. 5.30
阪谷 芳郎	30. 4.28	36. 5. 8	広瀬 豊作	11. 5.30	12. 5. 4
荒井賢太郎	36. 5. 8	40. 9.16	谷口 恒二	12. 5. 4	16. 7.16
橋本圭三郎	40. 9.16	44. 9. 6	木内 四郎	16. 7.16	17. 6.27
市来 乙彦	44. 9. 6	大 5.12.16	植木 庚子郎	17. 6.27	20. 4.13
西野 元	大 5.12.16	11. 6.17	中村 建城	20. 4.13	21. 1.30

備考：精算局長は明治13年3月設置され、明治14年6月19日調査局と改称された。調査局長は明治19年1月16日主計局長となる。

17. 出納正・出納頭・出納局長

氏名	任	免	氏名	任	免
林 信立	明2.10.13	明4.7.28	伊東 武重	明11.4.23	明14.11.16
得能 良介	4.7.28	5.5.22	与倉 守人	14.11.16	19.1.16
馬渡 俊邁	5.5.22	8.12.9	松尾 臣善	19.1.16	24.8.16
林 信立	9.8.1	10.1.11			

備考：出納司は明治1年閏4月21日会計官中に設置され数名の司知事を置いたが、2年7月8日大蔵省に引つがれ、その長は出納正であった。明治4年8月10日出納寮となり、出納正は出納頭となる。明治10年1月11日出納局となり、出納頭は出納局長となる。出納局は明治24年8月16日廃止され、事務は主計局に引つがれた。

18. 金庫局長

氏名	任	免	氏名	任	免
与倉 守人	明19.1.16	明20.5.7	小林 好愛	明20.5.7	明23.6.25

備考：金庫局は明治19年1月16日設置され、明治23年6月25日廃止され、事務を出納局に引ついだ。

19. 租税正・租税頭・租税局長・主税官長・主税局長

氏名	任	免	氏名	任	免
渋沢 栄一	明2.11.4	明3.8.24	菅原 通敬	明42.11.5	大4.7.2
伊藤 博文	4.7.28	4.9.20	松本 重威	大4.7.2	12.4.6
陸奥 宗光	5.6.18	7.1.15	黒田 英雄	12.4.6	昭2.5.17
松方 正義	7.1.15	8.11.4	藤井 真信	昭2.5.17	4.7.4
吉原 重俊	10.1.11	14.12.22	青木 得三	4.7.4	6.12.18
市川 正寧	14.12.22	17.5.20	中島 鐵平	6.12.18	9.12.8
郷 純造	17.5.20	19.3.9	石渡 莊太郎	9.12.8	11.3.13
中村 元雄	19.3.9	24.4.7	山田 龍雄	11.3.13	12.2.4
中野 健明	19.3.26	21.3.5	石渡 莊太郎	12.2.4	12.6.5
田尻 稻次郎	24.7.24	25.8.10	大矢 半次郎	12.6.5	15.12.14
加藤 高明	25.8.10	27.7.28	松隈 秀雄	15.12.14	19.3.24
目賀田 種太郎	27.7.28	37.10.18	田中 豊	19.3.24	20.2.28
若槻 禮次郎	37.10.18	39.1.8	池田 勇人	20.2.28	22.2.6
桜井 鐵太郎	39.1.8	42.11.5			

備考：主税局の前身は、明治1年5月10日会計官中に設置された租税司で、数人の知事を置いたが、明治2年7月8日大蔵省の所管となり、同年8月4日民部省に転属し、長として租税正を置いた。3年7月10日再び大蔵省の所管となり4年7月27日租税司を廃して租税寮とし、その長を租税頭とした。

明治10年1月11日租税寮は租税局となり、その長は租税局長となる。また、明治17年5月20日、租税局は関税局を合併して主税局となり、局長は主税官長となったが、主税官長は明治19年2月26日廃官となり、以後主税局長となる。

20. 関税局長

氏名	任	免	氏名	任	免
吉原 重俊	明10.1.11	明13.4.15	有島 武	明23.2.12	明24.8.16
蜂須賀 茂韶	13.4.10	15.5.24	桜井 鐵太郎	42.11.5	大1.12.24
中野 健明	15.6.16	17.5.20	山崎 四男六	大1.12.24	2.3.1
中野 健明	19.3.9	23.1.7	△野中 清	2.3.1	2.6.13

備考：関税局は明治10年1月11日設置され、明治17年5月20日主税局に合併された。明治19年3月9日再設され、明治24年8月16日、再度主税局に合併された。明治42年11月5日主税局から独立したが、大正2年6月13日再び主税局に吸収された。

21. 理財局長・金融局長

氏名	任	免	氏名	任	免
松尾 臣善	明30.4.28	明36.10.20	賀屋 興宣	昭11.5.30	昭12.2.4
水町 袈裟六	36.10.20	40.5.10	関原 忠三	12.2.4	13.6.11
勝田 主計	40.5.10	大1.12.21	○石渡 莊太郎	13.6.11	13.6.15
△長島 隆二	大1.12.21	2.3.1	大野 龍太	13.6.15	14.1.9
山崎 四男六	2.3.1	3.6.27	相田 岩夫	14.1.9	15.12.14
神野 勝之助	3.6.27	7.10.24	竹内 新平	15.12.14	16.11.27
森 俊六郎	7.10.24	9.8.23	○谷口 恒二	16.11.27	16.12.3
小野 義一	9.8.23	13.1.21	山住 克己	16.12.3	17.10.7
富田 勇太郎	13.1.21	昭9.2.15	○谷口 恒二	17.10.7	17.11.1
津島 壽一	昭9.2.15	9.7.13	田中 豊	17.11.1	19.3.24
青木 一男	9.7.13	11.3.13	○松隈 秀雄	19.3.24	19.3.29
広瀬 豊作	11.3.13	11.5.30	式村 義雄	19.3.29	20.10.27

備考：理財局は明治30年4月28日創設された。昭和20年5月19日銀行保険局と合併して金融局となり、理財局長は金融局長となった。

22. 国債頭・臨時国債整理局長・国債局長

氏名	任	免	氏名	任	免
吉田 二郎	明6.9.7	明7.10.2	駒井 重格	明29.10.29	明30.4.28
郷 純造	7.1.27	15.6.13	○阪谷 芳郎	38.11.20	39.1.8
石渡 貞夫	15.11.2	19.1.16	○若槻 禮次郎	39.1.8	40.4.13
田尻 稻次郎	19.1.16	23.6.25	勝田 主計	40.4.13	40.5.10
宍戸 昌	23.6.25	24.3.27	橋本 圭三郎	40.5.10	40.9.16
田尻 稻次郎	24.3.27	24.7.24	塚田 達二郎	40.9.16	43.11.12
有島 武	24.7.24	26.5.4	○若槻 禮次郎	43.11.12	43.11.25
曾根 静夫	26.5.4	29.4.8	山崎 四男六	43.11.25	大2.6.13
松尾 臣善	29.4.8	29.10.29			

備考：国債寮は明治6年7月17日創設されその長を国債頭としたが、明治10年1月11日国債局と改称され国債頭は国債局長となる。国債局は明治30年4月28日理財局創設と同時に廃止され、理財局に一人吸収されたが、明治38年11月20日臨時国債整理局が設置されて理財局から分立し、42年11月5日臨時国債整理局は国債局と改称され、臨時国債整理局長は国債局長となる。国債局は大正2年6月13日廃止され、再度理財局に吸収された。

23. 預金局長・預金部長官・預金部資金局長・資金局長

氏名	任	免	氏名	任	免
大野直輔	明18.5.30	明22.6.11	入間野武雄	昭12.2.4	昭12.5.4
小林好愛	23.2.12	24.3.27	広瀬豊作	12.5.4	15.7.31
鈴木利亨	24.3.27	25.8.10	中村孝次郎	15.7.31	16.3.26
兵頭正懿	25.8.10	26.3.21	○広瀬豊作	16.3.26	16.7.16
松尾臣善	26.3.24	26.11.10	谷口恒二	16.7.16	16.8.30
富田勇太郎	大14.4.1	昭7.11.24	山路鎮夫	16.8.30	16.12.9
川越丈雄	昭7.11.24	9.5.22	相田岩夫	16.12.9	17.5.11
荒井誠一郎	9.5.22	9.12.26	△式村義雄	17.5.11	17.6.27
金子隆三	9.12.26	11.8.14	木内四郎	17.6.27	17.11.1
関原忠三	11.8.14	12.2.4	松田令輔	17.11.1	18.11.1

備考：預金局は明治18年2月26日設置され、明治26年11月10日廃止され、事務は主計局に吸収された。明治30年理財局の創設により預金事務は理財局に移管され、大正14年4月1日理財局から独立して預金部が創設され、預金部長は理財局長が兼任した。昭和7年11月24日預金部は外局となり専任の預金部長が任命された。昭和12年5月4日預金部資金局長（長は預金部資金局長）と改称し、昭和16年7月16日再び預金部（預金部長官）となった。さらに昭和17年11月1日預金部は再び内局に移管され資金局（資金局長）となり、18年11月1日廃止され、事務は理財局に引つがれた。

24. 会社部長

氏名	任	免	氏名	任	免
山住克己	昭16.7.16	昭16.12.3	田中豊	昭16.12.3	昭17.11.1

備考：会社部は昭和16年7月16日新設され、昭和17年11月1日廃止され事務を理財局に引つがれた。

25. 監査局長・監督局長・銀行局長・銀行保険局長

氏名	任	免	氏名	任	免
岩崎小二郎	明13.5.7	明14.11.16	栗原亮一	明31.7.7	明31.11.1
加藤濟	14.11.16	21.4.25	森俊六郎	大5.4.10	大7.10.24
藤島正健	21.10.18	21.11.20	小野義一	7.10.24	9.8.23
大野直輔	21.11.20	22.11.20	黒田英雄	9.8.23	12.4.6
田尻稻次郎	22.11.20	24.7.24	松本脩	12.4.6	昭3.1.13
加藤高明	24.7.24	25.8.10	保倉熊三郎	昭3.1.13	5.3.10
鈴木利亨	25.8.10	26.5.4	大久保偵次	5.3.10	9.5.22
△添田壽一	26.5.4	26.11.10	川越丈雄	9.5.22	9.12.26
添田壽一	30.4.28	31.7.7	荒井誠一郎	9.12.26	11.3.13

氏名	任	免	氏名	任	免
和田正彦	昭11.3.13	昭12.5.4	山際正道	昭16.12.9	昭19.11.1
入間野武雄	12.5.4	15.5.25	迫水久常	19.11.1	20.4.7
松隈秀雄	15.5.25	15.12.14	○田中豊	20.4.7	20.4.13
相田岩夫	15.12.14	16.12.9	式村義雄	20.4.13	20.5.19

備考：銀行局は明治13年5月7日創設され、明治24年8月16日監査局となり、銀行局長は監査局長となる。監査局は明治26年11月10日廃止され、官房に吸収されたが、明治30年4月28日官房から独立して監督局となり、31年11月1日監督局は廃止され銀行行政は理財局に吸収された。大正2年6月13日理財局から官房に移管され、大正5年4月10日官房から分立して再び銀行局が創設された。昭和18年11月1日、監理局と合併して銀行保険局となり、20年5月19日さらに理財局と合併して金融局に吸収された。

26. 監理局長

氏名	任	免	氏名	任	免
長谷川公一	昭16.12.13	昭17.10.14	長谷川安次郎	昭18.7.1	昭18.11.1
相馬敏夫	17.10.14	18.7.1			

備考：監理局は昭和16年12月13日、保険・証券事務を商工省から移管して新設され、昭和18年11月1日廃止され事務を銀行保険局および理財局に引つがれた。

27. 国民貯蓄局長

氏名	任	免
氏家武	昭17.11.1	昭20.9.1

備考：国民貯蓄奨励局は昭和13年4月19日大蔵省の外局として新設されたが、長官は大蔵次官の兼任なので省略した。昭和17年11月1日国民貯蓄奨励局は廃止され、大蔵省の内局の国民貯蓄局となった。

28. 外国為替管理部長・為替局長・外資局長

氏名	任	免	氏名	任	免
青木一男	昭8.5.24	昭9.7.13	中村孝次郎	昭12.10.25	昭15.7.31
和田正彦	9.7.13	11.3.13	原口武夫	15.7.31	18.11.5
荒川昌二	11.3.13	11.11.21	久保文蔵	18.11.5	20.10.27
上山英三	11.11.21	12.10.25			

備考：外国為替管理部長は昭和8年5月24日新設され昭和12年5月4日為替局長となり、外国為替管理部長は為替局長となる。昭和17年11月1日為替局長は外資局長となり為替局長は外資局長となる。

29. 大蔵省臨時建築部長

氏名	任	免	氏名	任	免
妻木頼黄	明38.10.1	大2.5.6	△丹羽鋤彦	大2.5.6	大2.6.13

備考：大蔵省臨時建築部は明治38年10月1日、臨時税関工部（明治32年5月設置、部長は主税局長の兼任）および臨時煙草製造準備局（明治37年4月設置、局長は大蔵次官の兼任）の一部事務を引継いで設置されたが、大正2年6月13日廃止され、事務は大蔵官房に引継がれた。その後営繕事務関係部局としては、臨時議院建築局（大正7年6月設置、長官は大蔵次官の兼任、大正14年5月営繕管財局に移管）、臨時営繕局（大正12年10月設置、長官は大蔵次官の兼任、大正14年4月1日廃止）、営繕管財局（大正14年5月26日設置、長官は大蔵次官の兼任）があり、営繕管財局は17年11月1日内局となり専任の局長を置いたが、18年11月5日廃止され、営繕事務は大蔵官房に引継がれた。

30. 臨時国有財産整理部長・国有財産整理局長・営繕管財局長

氏名	任	免	氏名	任	免
西野 元	大11.4.1	大11.5.2	太田嘉太郎	大13.3.15	大14.5.25
鈴木 繁	11.5.2	13.3.10	浜田 幸雄	昭17.11.1	昭18.11.5

備考：臨時国有財産整理部は大正11年4月1日創設されたが、大正12年4月27日国有財産整理局となり、臨時国有財産整理部長は国有財産整理局長となる。大正14年5月25日、国有財産整理局は臨時議院建築局と合併して営繕管財局となり、大蔵省の外局となる。営繕管財局の長官は大蔵次官の兼任なので省略した。昭和17年11月1日、営繕管財局は大蔵省の内局となったが、18年11月5日廃止された。

31. 造幣局長

氏名	任	免	氏名	任	免
下山 尚	明2.2.24	明2.3.9	天宅 敬吉	大12.4.12	大13.6.6
井田 謙	2.3.13	2.8.14	草間 秀雄	13.6.6	13.8.13
井上 馨	2.8.18	2.10.12	永井 繁	13.8.13	昭5.3.10
井上 勝	2.10.10	3.5.3	保倉熊三郎	昭5.3.10	9.1.27
井上 馨	3.5.4	3.11.12	泉 至剛	9.1.27	11.4.18
馬渡 俊邁	3.11.12	4.8.5	入間野武雄	11.4.18	12.2.4
伊藤 博文	4.8.5	4.9.20	山田 龍雄	12.2.4	15.8.2
石丸 安世	10.1.11	14.11.10	中村 重喜	15.8.2	16.4.23
△大野 直輔	14.11.11	14.11.16	△杉村 正	16.4.23	16.6.11
遠藤 謹助	14.11.16	26.6.3	安藤 明道	16.6.11	17.3.30
長谷川為治	26.6.3	大2.4.25	△太田誠太郎	17.3.30	17.6.27
池袋秀太郎	大2.4.25	9.9.16	菅村道太郎	17.6.27	19.9.9
多胡敬三郎	9.9.16	12.3.31	杉田 芳郎	19.9.9	20.4.13
△植野 勲	12.3.31	12.4.12	多田 喜一	20.4.13	20.9.1

備考：造幣局は、明治2年2月5日太政官に創設され、同年4月会計官に所属（長は局知事）し、同年7月15日大蔵省造幣寮（造幣頭・4年9月～10年1月空席）となった。明治10年1月再び造幣局（造幣局長・19年4月15日～20年12月21日の間造幣局事務長）となる。

32. 印刷局長

氏名	任	免	氏名	任	免
渋沢 栄一	明4.12.18	明5.6.2	得能 通昌	明21.9.28	明31.10.22
芳川 碩正	5.6.2	7.1.15	土屋 耕二	昭18.11.1	昭19.6.3
得能 良介	7.1.15	16.12.15	山田 義見	19.6.3	20.4.13
一川 研三	17.1.7	21.8.3	深沢 家治	20.4.13	21.2.2

備考：紙幣寮（長は紙幣頭）は明治4年8月10日創設され、明治10年1月11日紙幣局（紙幣局長）と改称し、明治11年12月10日印刷局（印刷局長・19年4月15日～20年12月21日の間印刷局事務長）となった。明治31年10月22日印刷局は内閣に移管され、昭和18年11月1日再び大蔵省の所管となった。

33. 専売局長

氏名	任	免	氏名	任	免
仁尾 惟茂	明31.11.1	明40.12.16	佐野 正次	昭9.7.25	昭9.12.8
浜口 雄幸	40.12.16	大1.12.24	中島 鐵平	9.12.8	11.3.13
桜井鐵太郎	大1.12.24	5.1.15	荒井誠一郎	11.3.13	15.2.3
嘉納徳三郎	5.1.15	7.6.7	花田 政春	15.2.3	16.9.25
△杉浦 儉一	7.6.7	7.6.20	山田 鐵之助	16.9.25	17.11.1
野中 清	7.6.20	12.12.20	木内 四郎	17.11.1	18.11.5
今北策之助	12.12.20	昭4.2.7	浜田 幸雄	18.11.5	20.4.13
平野 亮平	昭4.2.7	7.1.11	植木 庚子郎	20.4.13	21.1.30
佐々木謙一郎	7.1.11	9.7.25			

備考：専売局（長は専売局長）は明治31年11月1日新設されたが、37年6月1日、煙草専売局（煙草専売局長、39年12月1日から煙草専売局長は煙草専売局長官）となった。明治40年10月1日煙草専売局は、塩務局、樟腦事務局と合併して再び専売局（専売局長官）となった。

注：1. 人名は原則として新字体とした。

2. ○は事務取扱、△は心得。上級官職在職者による下級官職の事務取扱には○、下級官職在職者の上級官職心得には△を付したが、同一人物が引き続き心得から本官に、又は本官から事務取扱になった場合はこれを省略した。